

第4 施策の展開

【施策体系図】

基本理念	基本目標	基本施策	施策の具体的方向
一人ひとりの学びが生きる教育立県「信州」の創造	知・徳・体が調和し、社会的に自立した人間の育成	1 未来を切り拓く学力の育成	(1)確かな学力を伸ばす教育の充実
		(2)高校教育の充実	
		2 信州に根ざし世界に通じる人材の育成	(1)キャリア教育の充実
		(2)長野県・地域を学ぶ体験学習	
		(3)世界につながる力の育成	
		(4)高等教育の充実	
		3 豊かな心と健やかな身体の育成	(1)豊かな心を育む教育
	(2)健康づくり・体力の向上		
	(3)幼児教育の充実		
	4 安全・安心・信頼の学校づくり	(1)地域と共にある学校づくり	
	(2)教員の資質能力向上		
	(3)安全・安心の確保		
	(4)教育環境の維持改善		
	多様な個性を認め、共に生きる社会、	5 すべての子どもの学びを保障する支援	(1)いじめ・不登校等悩みを抱える児童生徒の支援
(2)特別支援教育の充実			
(3)困難を有する子ども・若者の自立支援			
(4)私学教育の振興			
社会全体で共に育進み	6 学びの成果が生きる生涯学習の振興	(1)学びが循環する社会の創造	
	(2)子どもの未来づくり		
	7 潤いと感動をもたらす文化・スポーツの振興	(1)文化芸術の振興	
(2)文化財の保護・継承・活用			
(3)スポーツの振興			

※個人のライフステージに対応する施策の体系を参考資料として示します。【106 ページ参照】

【施策の展開の構成】

次ページからの施策の展開については、次の内容で構成しています。

現状と課題

項目ごとに、子どもたちの現状や教育を取り巻く環境、教育施策の現状や課題等を記述しています。

第1次計画の成果と課題

各項目に関わる第1次計画の5年間の成果の見込みや平成24年度末における達成目標の達成予測を記述するとともに、第1次計画の点検評価の視点での今後求められる取組を記述しています。

成果目標

施策の具体的方向性を総括的に示す目標を設定して記述しています。

原則として、施策の受益者（児童生徒、県民、社会等）にとってどのような成果を目指すのかという視点で目標を設定しています。

測定指標

成果目標の内容の達成度を測定する指標を記述しています。

客観性確保のために、数値による指標を設定しています。達成度の評価に当たっては、計画に記述しなかった様々な指標の活用や新たな指標の開発、様々な事例の収集等も含めて評価していきます。

主な施策の展開

目標の達成に向けて今後5年間で取り組む具体的な施策を、主な項目毎に記述しています。